

広島大学文書館蔵

広島県原爆被害者団体協議会  
関係文書目録

令和2年10月

広島大学文書館・75年史編纂室

## 解題

広島大学 75 年史編纂室

石田 雅春

### 1. 資料の来歴、寄贈の経緯

本資料は広島県原爆被害者団体協議会（以下、広島県被団協と略）の発足準備期（昭和 30 年 9 月頃）から昭和 36 年 4 月頃までの事務局資料の一部である。広島県被団協は、広島県内の原爆被害者組織の連合体として昭和 31 年 5 月に発足した。この広島県被団協の資料群については、宇吹暁氏が昭和 50 年代後半に調査・整理を行い、その内容を学術研究で紹介したため、研究者の間で存在が知られることとなった（同資料群は、資料を収蔵していた建物の名前にちなみ「平和会館資料」と名付けられた）<sup>(1)</sup>。

こうして整理された資料群の原本は目録とともに広島県被団協へ返却され、同事務局が引き続き保存・管理することとなった。一方、資料の整理に際して宇吹氏は主要なものをコピーし、当時、助手を務めていた広島大学原爆放射能医学研究所（のち原爆放射線医学研究所と改称）の内部資料として収蔵したのであった。

平成 16 年 1 月、広島県被団協が中島町から大手町へと移転することとなった。その際、たまたま作業を手伝っていた小畑弘道氏が資料の一部を譲り受けることとなった。その後、関係者が逝去、あるいは交代するうちに、広島県被団協内において、これらの資料群の所在が不明となり、発見に努める状況となっていた。

こうしたなか、小畑氏が保管していた資料について、近年、毎日新聞社の記者が原爆関係の取材を進めるなかで偶然出会い、公的機関での保存が適当として、記者の仲介のもと広島大学文書館が資料を受け入れ、広島県被団協の許諾を得て公開を行うこととなった。

### 2. 資料の状態、整理の経緯

受け入れ時において、本資料は 3 つのかたまりに分けられ、それぞれ薄葉紙によって包まれていた。このうち 2 つの包みには、それぞれ簿冊 1 点と複数の一紙物の文書が一緒にまとめられていた。これに対して、もう 1 つの包みには簿冊 1 点のみが入っていた。薄葉紙に包まれた時期や経緯が不明であったため、とりあえずこの包みを原秩序とみなして、仮目録の作成が行われた。あわせて、広島県被団協の草創期の貴重な資料であることが一見して分かったため、最初から細目録を作成する方針が取られ、簿冊に綴じられた文書は 1 点ずつ採録されることとなった。

また、本資料は戦後の物資が乏しい時代のものであり、大半の文書は紙質の低い再生紙であった。このため酸性紙劣化が相当進行しており、中折や三つ折りされた文書の折り目の部分が断裂しているものも多く、簿冊をめくるたびに劣化した紙片が脱落するような状態であった。このため採録が完了した文書を順次、専門業者に委託して修復を行うこととした。あわせて修復後の文書であっても、原本を閲覧に供すると劣化の進行している部分が破断する恐れがあるため、カメラによる写真撮影を行い、デジタルデータをもって公開することとした。

このように整理と公開の準備を進める一方で、文書の鑑定が行われた。受贈の時点において、本資料が広島県被団協と関係のある文書であることは推定されていたが、どのような性格の資料であるのかということは分かっていなかった（上述のような来歴は、受贈後の調査によって判明した事実である）。そこで資料の形態と内容の両面から調査を進めたところ、ペン書によって作成された文書（写しではないオリジナルの文書）のいくつかは、『広島新史 歴史編』に引用されていることが分かった。また、目録作成の結果、ほぼすべての文書の右下に鉛筆書で整理番号と思われる通し番号が付されていることが判明した。

筆者は以前、原爆資料の収集、保存に関する研究会で宇吹氏の報告をうかがったことがあり、本資料が「平和会館資料」の一部ではないかと推定した<sup>(2)</sup>。そこで広島大学原爆放射線医科学研究所が管理する「平和会館資料」のコピーを確認したところ、一致するものが見つかった。さらにコピーと原本の中身を詳しく比較したところ、受贈時に確認した薄葉紙の包みは本来の資料の秩序とは関係がなく、いつの時点かにおいて簿冊の綴じ紐が切れ、バラバラになった文書がたまたま一緒に含まれていたことが判明した。そこで「平和会館資料」のコピーを参考にしながら、資料の並び替えを行い原秩序の復元に努めた。

ただ、「その他の件 被団協」と題された簿冊については、元の文書の一部しか残っていなかった。このため残った文書を当初の順番に従って配列したが、欠落が生じている。また、復元作業をおこなっても、元の所在が分からない文書が数点のこった。このためこれらの文書は一紙ものとして整理を行い、目録上は簿冊のあとに配置することとした。

### 3. 資料の学術的価値

本資料を含む県被団協の歴史的な文書は、上述のように宇吹暁氏の手によって整理され、学術研究の用に供されてきた。こうした先行研究の成果を踏まえると、県被団協の発足前後のできごとは新聞でも断片的にしか報じられていないことが分かる。このため同時期のできごとについては、本資料でなければ裏付けの取れない事項も少なくない。原爆被害者による運動は現在も連綿と続けられているが、本資料はその出発点の証拠書類であり、これらが失われずに伝えられてきたことは大変意義がある。

いずれにしても被爆地広島原爆被害者達による運動の記録は、原爆被災という特殊性ゆえ、他に類例を見ない資料である。本資料の公開を通じて運動の実相や担い手の思いが明らかとなり、これからの被ばく者救済や核兵器廃絶を求める活動の一助となれば幸いである。

---

(1) 「まどうてくれ 藤居平一聞き」『資料調査通信』5～9号、25～29号（広島大学原爆放射線医学研究所附属原爆被災学術資料センター、昭和56～58年）、『広島新史 歴史編』（広島市、昭和59年）、宇吹暁『ヒロシマ戦後史』（岩波書店、平成26年）等参照。

(2) 『広島における原爆・核・被ばく関連の史・資料の集積と研究の現況 平成23年度科学研究費補助金基盤研究(B)研究成果報告書』（小池聖一編集・発行、平成26年）。なお、広島大学文書館のホームページでPDF版を公開しているが、宇吹氏のインタビュー記録はご本人の希望で紙媒体の掲載に限り、インターネット上では公開していない。

## 凡 例

1. 本目録は、広島大学文書館が所蔵する広島県原爆被害者団体協議会関係文書の目録である。
2. 本資料の閲覧にあたっては、広島県原爆被害者団体協議会との取り決めに基づき、利用の制限を行う。閲覧希望者は申請にあたり別途誓約書の提出が必要である。
3. 本目録に採録した文書の中には、国籍・職業・身体・性別等による差別的表現・記述や、プライバシーを侵害する可能性のある記述がある。しかし、歴史的事実を正確に記録し、かつ科学的な歴史研究を推進することによって、基本的人権の擁護を図ることを目的として採録した。本資料の利用にあたっては、この趣旨を理解された上で調査・研究に役立てることをお願いしたい。
4. 目録の各項目は次の通りである。
  - (1) 整理番号  
本目録の番号の階層は以下の通りである。本資料は簿冊と 1 点物の文書によって構成されている。このうち簿冊については、綴じられた文書の細目録を作成し、枝番号を付した。  
(例) 1      -      001  
      文書番号 枝番号
  - (2) 件名  
件名は表題や文書名などを採った。このうち原文書からそのまま抜き出した場合は「」書とした。
  - (3) 年代  
和暦で統一した。推定の場合は末尾に「カ」を付した。
  - (4) 作成（発信→受信）  
判明するものは可能な限り採録した。
  - (5) 形態  
用紙の大きさ、形態、数量、記述の方法を可能な限り採録した。
  - (6) 備考  
広島大学原爆放射能医学研究所の整理によって付された整理番号を記載した。また、書き込み等、他の項目で採録できなかった事項で、かつ、文書の性格を理解する上で必要と思われるものを採録した。

# 広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
1 0	「原爆被害者関係資料」綴表紙	広島県原爆被害者団体協議会		B5厚紙2、ペン書	以下、1-1～1-142まで紐綴にて一括
1 1	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律案要綱」			B5わら半紙4、謄写版、ホッチキス・クリップどめ	イ-1
1 2	国民年金等に関する講演会共賛のお願い	広島県民生労働部長石島康男→広島県原爆被害者団体連合会長	昭和33年10月27日	B4わら半紙2、タイプ印刷	B-2、「竹内」印鑑あり
1 3	末高信先生講演会第1回準備会案内	末高信先生講演会準備会(仮称)→広島県原爆被害者団体協議会代表委員藤居平一	昭和33年10月17日	B4わら半紙2、タイプ印刷	B-3、「竹内」印鑑あり
1 4	「末高信先生講演会準備打合せ」		昭和33年10月24日	B4わら半紙1、タイプ印刷	B-4
1 5	「新しい医師 第175号」	新日本医師協会	昭和33年10月21日	B4わら半紙1、活版	第11回新日本医師協会総会案内記事(原水爆問題討議)掲載
1 6	「討議資料 運動方針」	広島県被団協	昭和30年2月1日	B5わら半紙1、謄写版1	B-6
1 7	「昭和31年度原水爆禁止長崎協議会収支中間報告」・「昭和30年度原水爆禁止長崎協議会収支決算」		(昭和31年10月31日)	B4わら半紙1、タイプ印刷	B-7
1 8	「戦傷病者戦没者遺族等援護法改正に関する陳情書」	広島市長渡辺忠雄、長崎市長田川務、広島市議会議長伊藤忠男、長崎市議会議長脇山寛	昭和31年11月5日	B4わら半紙1、タイプ印刷	B-9
1 9	「戦傷病者戦没者遺族等援護法の一部を改正する法律案」			B4わら半紙2、タイプ印刷	
1 10	「公務原爆障害者の援護について」	広島市長渡辺忠雄・広島市議会議長伊藤忠男	昭和31年	B4洋紙1、タイプ印刷	B-11
1 11	原爆被爆生存者数、原爆障害者数および治療状況一覧		(昭和31年3月31日)	B4わら半紙1、謄写版	B-12、「参考資料(1)」とあり
1 12	「法案要綱について」			B4わら半紙2、謄写版	「参考資料(2)」とあり
1 13	「法律に基づく経費の要望額の概算」			B4わら半紙1、謄写版	「参考資料(3)」とあり
1 14	「原爆被爆生存者の健康管理について」		(昭和31年6月)	B4罫紙5、カーボン複写、クリップどめ	B-15
1 15	「原爆被災者調査第一次分報告書」	全日本自由労組広島分会	(昭和30年10月24日)	B4罫紙2、カーボン複写、クリップどめ	B-16
1 16	挨拶文原稿		昭和32年	A4原稿用紙2、ペン書、ホッチキスどめ	B-17、後欠
1 17	「悲しみに苦しみに」楽譜	阿部静子作詞、村中好穂作曲		B5わら半紙1、謄写版	B-18
1 18	「第二十六回国会 原子爆弾被爆者の医療等に関する法律案に関する参考資料」	厚生省		B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-19
1 19	「第二十六国会に提出された「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律案」関係資料」		昭和32年	B4わら半紙1、謄写版	B-20
1 20	挨拶文原稿		昭和33年	A4原稿用紙2、ペン書	B-21、綴じ穴はなく挟み込み、1-16と同内容。
1 21	戦争犠牲への国の責任、原子力の平和利用等に関するメモ書き			B5罫紙1、ペン書	B-22
1 22	「原爆被害者の医療等々に関する法律案要綱(第六次案)」		昭和31年12月26日	B4わら半紙1、謄写版	B-23
1 23	日本原水爆被害者団体全国代表者会議宣言・決議		昭和32年1月13日	B4わら半紙1、謄写版	B-24
1 24	被団協発足以前の被爆者援護運動の経緯に関するメモ書		昭和30年	B5罫紙2、ペン書	B-26
1 25	「第一回神石郡原爆被害者協議会理事会議案」	(神石郡原爆被害者協議会)	(昭和32年6月28日)	B4わら半紙1、謄写版	B-27
1 26	被爆者救援金の募金趣意書原稿		昭和30年	B5罫紙4、鉛筆書	B-28、1-27とともにピンどめ
1 27	「原水爆被災者救援国民募金」	原水爆禁止日本協議会	昭和30年11月	A4洋紙中折1、活版	
1 28	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律案」		昭和32年カ	B5仮綴1、活版、ホッチキスどめ	B-30
1 29	「核兵器持込み禁止・核非武装に関する請願」		昭和32年カ	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-31
1 30	「原水爆禁止賀茂地区協議会結成趣意書」		昭和31年8月1日	B4わら半紙1、謄写版	B-32、紙背は「援護法の促進と予算獲得」(鉛筆書にて「B-33」とあり)

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
1 31	「原水爆禁止ニュース 号外」	原水爆禁止日本協議会	昭和33年5月1日	B4わら半紙1、活版	B-34、破損
1 32	奇形児・被爆者差別に関するメモ			B5罫紙1、鉛筆書	B-35
1 33	映画「世界は恐怖する」チラシ	監督:亀井文夫、日本ドキュメントフィルム社・三映社共同制作	昭和32年	B4洋紙中折1、写真製版	B-36
1 34	映画「世界は恐怖する」チラシ	監督:亀井文夫、日本ドキュメントフィルム社・三映社共同制作	昭和32年10月30日	B4わら半紙1、謄写版	B-37
1 35	「広島原爆病院状況調」	日本赤十字社広島原爆病院	(昭和33年3月)	B5わら半紙1・B4わら半紙1、謄写版、ホッチキスどめ	B-38
1 36	「山県郡原爆被害者の会総会議事並びに協議事項」		昭和33年6月28日	B5仮綴1・ペン書、ホッチキスどめ	B-39
1 37	「高田郡原爆被害者の会結成総会資料」	高田郡原爆被害者の会設立準備委員会	昭和32年1月28日	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-47
1 38	芦品郡町村別被爆者数一覧			B4罫紙1、カーボン複写	B-48
1 39	「原子爆弾被爆者援護法の制定について」			B4罫紙4、カーボン複写、クリップどめ	B-49
1 40	「原子爆弾被爆者援護法案要綱」			B4罫紙2、カーボン複写、クリップどめ	B-50
1 41	原爆被害者連絡協議会設立試案		昭和30年9月24日	B4わら半紙1、謄写版、B4原稿用紙1、ペン書	B-51
1 42	「国会請願代表住所氏名」			B4わら半紙1、謄写版・ペン書	B-52
1 43	「戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案要綱」		昭和33年カ	B5仮綴1、謄写版、糊どめ	B-53
1 44	「お年玉つき郵便葉書等の発売に関する法律の一部を改正する法律」		昭和34年カ	B5仮綴1、謄写版、糊どめ	B-54
1 45	「ソ連の原水爆実験停止決議に対する声明」	広島県原爆被害者団体協議会→ソ連最高会議幹部会議長フルシチョフ首相、アメリカ政府大統領他11カ所	昭和33年4月5日	A4原稿用紙2、ペン書、ホッチキスどめ	B-55
1 46	エニウエトク島水爆実験にたいする抗議文草稿		(昭和33年)	A4原稿用紙3、鉛筆書・ペン書、ホッチキスどめ	B-56
1 47	ソ連の原水爆実験停止決議に対する声明草稿		(昭和33年)	A4原稿用紙3、鉛筆書・ペン書、ホッチキスどめ	B-57
1 48	「中性子による誘導放射能—放射性元素は人体内に残存してゐるか—」			B4わら半紙9、謄写版、ホッチキスどめ	B-58
1 49	「階層別協議会—被害者討議資料草案 第三議題権利を守る運動と原水禁運動との関連したすすめ方」		昭和33年カ	A4原稿用紙8、ペン書	B-59
1 50	原爆被害者の現況一覧		昭和33年7月カ	B5罫紙7、ペン書・鉛筆書、クリップどめ	B-60
1 51	被爆者医療関係集計表	広島市厚生局原爆被害対策課	昭和33年5月30日	B4わら半紙1、謄写版	B-62
1 52	「No.10 原爆被爆者健康手帖交付集計表」	厚生局原爆被害対策課	昭和33年3月31日現在、昭和33年5月15日作成	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-63
1 53	「原爆被害(人的)に関する概要」	広島市	昭和33年3月31日	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-64
1 54	「No.13 原爆被爆者健康手帖交付集計表」	厚生局原爆被害対策課	昭和33年6月30日現在、昭和33年7月10日作成	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-65
1 55	入院患者名簿	広島原爆病院カ	昭和33年9月末	B5罫紙4、ペン書・鉛筆書、ホッチキスどめ	B-66、閲覧制限
1 56	「原爆被害者の援護に関する請願」		昭和33年カ	B5わら半紙1、タイプ印刷	B-67、1-57と一緒にクリップどめ
1 57	「原子爆弾被爆者援護法の制定について」			B4わら半紙1、タイプ印刷	B-68、一部破損
1 58	原爆温泉療養センター設置に関する請願書		昭和33年カ	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-69
1 59	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の一部を改正する法律案」		昭和34年4月1日	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-70
1 60	「核武装禁止に関する請願」			B4わら半紙中折1、タイプ印刷	B-71
1 61	「原爆被害者救援に関する請願」			B4わら半紙中折1、タイプ印刷	B-72、「見本」とあり
1 62	「原爆被爆者調査票」			B4洋紙7、活版、ホッチキスどめ	B-73、未使用

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
1 63	被爆者名簿		昭和34年2月1日	B4罫紙3、ペン書・鉛筆書、ホッチキスどめ	B-74、閲覧制限
1 64	「被害者団体各県助成現況」			B5仮綴1、ペン書、ホッチキスどめ	B-75
1 65	「原爆被害生存者調書」		昭和30年11月	B5わら半紙1、謄写版	B-76、未使用
1 66	「会員調査表」	原爆被害者の会事務局	昭和30年3月	B4わら半紙1、謄写版・ペン書	B-77
1 67	「原水爆実験禁止 原子兵器持込み禁止 原爆被害者援護に関する請願」		昭和32年	B5洋紙1、活版	B-78
1 68	「原水爆実験の即時・無条件禁止協定を要求する国民請願署名簿」	原水爆禁止日本協議会	昭和32年カ	B4洋紙中折1、活版	B-79
1 69	原爆被害者の会幹事会議事要録		昭和31年カ6月1日	B4わら半紙1、ペン書	B-80
1 70	原爆乙女渡米治療同時の所感	原田東岷、または大内五郎カ	昭和31年カ	B4見真原稿用紙7、ペン書	
1 71	被爆者名簿			B4罫紙5、ペン書、ホッチキスどめ	B-82
1 72	昭和32・33年度決算書、昭和34年度予算書	尾道原爆被害者の会	昭和34年	B4わら半紙1、謄写版	B-83、1-73と一緒にホッチキスどめ
1 73	「尾道市原爆被害者の会会則」	尾道原爆被害者の会		B4わら半紙2、謄写版	B-84
1 74	「原爆被災者調査票」			B5洋紙1、活版・ペン書	B-85、閲覧制限
1 75	北海道での被爆者団体結成準備の状況、および加入希望者の紹介	原水爆禁止北海道実行委員会→広島県原水協	昭和34年7月13日	B5変便箋2、ペン書、ホッチキスどめ	B-86
1 76	原爆被災者調査票の送付について	原水爆禁止北海道実行委員会→広島県原水協	昭和34年カ	B5変便箋1、ペン書	B-87、1-74の送付状
1 77	「一般乗合自動車(バス)割引証改正についてお知らせ」		昭和34年	B5わら半紙1、謄写版	B-88
1 78	名簿			B5罫紙1、ペン書	B-89
1 79	「被爆者健康手帳交付申請書返戻について」	岡山県公衆衛生課長→広島県原爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和32年7月9日	B5タイプ用紙1、カーボン複写	B-90
1 80	「被爆者健康手帳交付申請書」		昭和32年カ	B5わら半紙1、活版・ペン書	B-91
1 81	「証明(申述)書」		昭和32年	B5わら半紙1、活版・ペン書	B-92
1 82	「被爆者健康手帳交付申請書」		昭和32年カ	B5わら半紙1、活版・ペン書	B-93
1 83	「証明(申述)書」		昭和32年	B5わら半紙1、活版・ペン書	B-94
1 84	「牛田本町区遺族現住者」			B5罫紙1、ペン書	B-95
1 85	「調査表」	府中原爆被害者の会		B5洋紙1、謄写版・ペン書	B-96
1 86	広島への原子爆弾投下に関する質問要項			B5罫紙3、カーボン複写	B-97
1 87	被爆者実態調査計画書		5月29日	B4罫紙1、カーボン複写	B-98
1 88	調査経費計算書	広島大学久保良敏		B5罫紙1、ペン書	B-99、紙背に書込あり
1 89	治療願			B5罫紙1、ペン書	B-100
1 90	「原爆被爆者健康診断一覧表」		昭和32年12月現在	B5わら半紙1、謄写版	B-101
1 91	「放射能障害の温泉療法 第六報 原爆被爆者の温泉療法」	九州大学温泉治療学研究所教授八田秋	昭和35年2月1日	B5冊子1、活版	B-102、書込あり
1 92	「原爆病院三階異動報告」		8月22日現在	B5罫紙1、ペン書	B-103
1 93	名簿			19×11cmわら半紙1、ペン書	B-104、紙背に昭和33年度領収証書の記載あり
1 94	被爆者救援募金パンフレット	原水爆禁止日本協議会	昭和34年カ	A5洋紙1、活版	B-105
1 95	温泉津温泉湧出量問題に関する意見ピラ	元湯温泉主伊藤恕介	昭和32年新1月	B4わら半紙1、活版	B-106
1 96	「元湯温泉意見書」	社団法人日本温泉厚生協会理事 理事長 卜部趣治	昭和32年11月5日	B4洋紙1、活版	B-107
1 97	温泉津温泉湯治案内	元湯旅館長 命館	昭和32年カ	20×52cm洋紙1、活版	B-108、「原爆症療養に最適な元湯温泉」という紹介記事あり
1 98	「原爆被害者救援に関する請願」	山田善九郎他270名→衆議院議長		B4洋紙中折1、タイプ印刷	B-109
1 99	「原爆被害者救援に関する請願」	山田善九郎他270名→参議院議長		B4洋紙中折1、タイプ印刷	B-110
1 100	「大会決議」	広島県佐伯町原爆被害者の会	昭和34年8月1日	B4わら半紙2、タイプ印刷	B-111、同伴2部

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考	
1	101	「原爆被害者の援護に関する請願」 広島県佐伯町原爆被害者の会 →参議院議長松野鶴平	昭和34年8月1日	B5わら半紙1、タイプ印刷	B-112	
1	102	「原爆被害者の援護に関する請願」 広島県佐伯町原爆被害者の会 →衆議院議長加藤謙五郎	昭和34年8月1日	B5わら半紙1、タイプ印刷	B-113	
1	103	詩「怒り！」		B5変形紙2、ペン書、クリップどめ	B-114、紙背に名簿あり	
1	104	「No.22 原爆被爆者健康手帖交付集計表」	保健局原爆被害対策課	昭和34年3月31日現在、昭和34年4月8日作成	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-116
1	105	「昭和33年度原爆医療法施行状況調(広島市)」		昭和34年5月18日	B5わら半紙1、謄写版	B-117
1	106	「貸付金内訳」			18×14cmわら半紙2、カーボン複写、クリップどめ	B-118、同伴2部
1	107	「履歴書」		昭和34年6月18日	B4ハロン紙1・墨書、B5罫紙1・鉛筆書、クリップどめ	B-119、閲覧制限
1	108	学校・団体・個人のリスト			B4罫紙1、ペン書	B-120
1	109	広島県議会に対する諸請願	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県議会議長林興一郎	昭和32年12月27日	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-121、黒ペン書にて書込あり
1	110	「第一報告 放射能害と原子戦争の危険 最終草案」		昭和34年カ	B5冊子1、タイプ印刷	B-128
1	111	「原爆被害者援護法の要綱(案)」	日本社会党政策審議会	8月12日	B4わら半紙2、タイプ印刷、糊どめ	B-129
1	112	「原爆被災者の実態」	原爆被災者の会(東京)	昭和31年8月調査、昭和31年9月9日作成	B5冊子1、謄写版	B-130
1	113	「国民年金と社会保障」	末高信	昭和33年11月12日	B5冊子2、活版	B-131、同伴2部
1	114	「お年玉つき年賀葉書等の発売に関する法律の一部を改正する法律」		昭和34年カ	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-132
1	115	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律施行状況一覧表」		昭和33年11月12日現在	B4わら半紙1、謄写版	B-133
1	116	「原爆被爆者調査票」			B4わら半紙5・B5わら半紙2・謄写版・ホッチキスどめ、A6洋紙3・鉛筆書	B-134、鉛筆書にて加筆あり、メモ(A6洋紙3)は4ページ目に挟込
1	117	「原爆被爆者に於ける悪性新生物死亡の統計的観察」	於保源作	昭和31年4月10日	B5わら半紙1、タイプ印刷1	B-135、中国四国内科学会抄録
1	118	「原爆被爆者の白血球の動態(第1報)」	広藤道男	昭和31年10月28日	B5わら半紙1、タイプ印刷1	B-136、中国四国内科学会抄録
1	119	「白血球造血能に於ては4年間を通じて恢復の傾向が極めて少い」		昭和30年カ	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-137、大竹市の被爆者調査結果
1	120	「広島原爆被爆者に観られた皮膚毛細血管像の変化」	真鍋欣良、岸昭一、保田孝治、猿渡和彦	昭和29年6月20日	B4わら半紙中折1、タイプ印刷	B-138、第1回原対協シンポジウムでの発表要録
1	121	「高色性貧血は慢性放射線障害症の一つの指標である」		昭和31年カ	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-139
1	122	「原子爆弾被爆者調査会(仮称)」		昭和33年カ	B4わら半紙3、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-140
1	123	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の一部を改正する法律案」		(昭和35年7月1日)	B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	B-141
1	124	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の一部を改正する法律案要綱」		(昭和35年7月1日)	B4わら半紙1、タイプ印刷	B-142
1	125	「原爆被害者実態調査報告」	原水爆禁止広島協議会原爆被害者救援委員会	昭和31年8月	B5冊子1、活版	B-143
1	126	原爆被害者大会参加者芳名録		昭和31年3月18日	A5仮綴1、鉛筆書、ホッチキスどめ	B-144、閲覧制限
1	127	「広島市の平和運動研究資料一 広島市の平和運動(平和運動研究班中間報告)」	平和と学問を守る大学人の会	昭和31年カ	B5冊子1、タイプ印刷	B-145
1	128	「ソ連邦の社会保障」	ソビエト社会主義共和国連邦大使館	昭和34年6月	A5冊子1、活版	B-146
1	129	「被爆者健康手帳の取扱について(通知)」	広島市役所(保健局原爆被害対策課)→被爆者健康手帳所持者	昭和35年8月1日	B4わら半紙1、活版	B-147、1-142と同内容
1	130	「宣言」	佐伯町原爆被害者の会	昭和35年8月28日	B4洋紙1、タイプ印刷	B-148
1	131	「決議文」	広島県佐伯郡佐伯町原爆被害者の会	昭和35年8月28日	B4洋紙1、タイプ印刷	B-149
1	132	「原爆医療法の改正実施について」		昭和35年8月1日	B4わら半紙12・B5わら半紙1、謄写版、ホッチキスどめ	B-150、破損大

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
1 133	「広島・長崎の原子爆弾による物理的被害—放射線量を中心として」	庄野直美	昭和35年	B5冊子1、活版	B-151、広島女学院大学論集第10集掲載
1 134	「教職員の原爆症対策についての請願」	広島県教職員組合執行委員長 普喜邦夫→広島県会議長 平塩五男	昭和35年12月15日	B5冊子2、謄写版	B-152、同伴2部
1 135	ABCCホーリングスワース博士の論文への反論書		昭和35年	B4わら半紙中折2、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-153
1 136	日付メモ			B5原稿用紙1、鉛筆書	
1 137	「広島県原爆被害者団体協議会規約」・「広島県原爆被害者団体協議会青年部会則(案)」		昭和32年カ	B4わら半紙5、謄写版	B-154、同伴5部
1 138	「宣言」		昭和35年	A4原稿用紙1、ペン書	B-155
1 139	「決議」	安芸郡原爆被害者団体連合会カ	昭和35年	A4原稿用紙1、ペン書	B-156
1 140	「国立学校設置法の一部を改正する法律案要綱」		昭和36年4月1日	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	B-157、原爆放射線医学研究所の設置関係
1 141	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の一部を改正する法律案」		昭和35年7月1日	B4わら半紙中折3、B5わら半紙1、謄写版、B5罫線6、ペン書、ホッチキスどめ	B-158
1 142	「被爆者健康手帳の取扱について(通知)」	広島市役所(保健局原爆被害対策課)→被爆者健康手帳所持者	昭和35年8月1日	B4わら半紙1、活版	B-159、1-129と同内容
2 0	「発信綴」表紙	広島県原爆被害者団体協議会		B5厚紙2、ペン書	以下、2-1～2-247まで紐綴にて一括
2 1	「広島県原爆被害者団体協議会規約」	広島県原爆被害者団体協議会		B4わら半紙1、謄写版	J-1
2 2	日本政府への働きかけ(核実験即時無条件停止条約締結、核兵器持ち込み禁止協定締結、原爆医療法の拡充等)および県への予算措置(県被団協への県補助金拡充、被ばく者対策事業の充実等)に関する請願	広島県原爆被害者団体協議会→広島県会議長 林興一郎	昭和32年12月27日	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	J-2、2-58と同内容
2 3	「資料 第三回総会」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年5月	B5冊子1、謄写版	J-3、表紙に黒ペン書にて「森瀧」とあり、2-170・3-10と同内容
2 4	「世界大会参加代表に便宜方取計いのおねがいについて」	原水爆禁止広島協議会理事長 森滝市郎→中国電力株式会社 広島東営業所長 竹本春三	昭和33年8月9日	B4罫紙1、カーボン複写	J-4
2 5	「出庫願」	広島県原爆被害者団体協議会→日通己斐支店長	昭和33年9月20日	B4罫紙1、カーボン複写	J-5
2 6	「第三回総会決算報告」			B4わら半紙2、謄写版	J-6、同2部、黒ペン書にて加筆多数あり
2 7	「青年部ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会 青年部長 網岡弘	昭和33年10月1日	B4わら半紙1、謄写版	J-7
2 8	「国会請願に対する協力要請について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年12月12日	B4わら半紙1、タイプ印刷・謄写版	J-8
2 9	「大迫眞一氏見舞報告」	広島県原爆被害者団体協議会 竹内武志→日本被団協・東京被団協・目黒被団協	昭和33年12月20日	B4罫紙2、カーボン複写、ホッチキスどめ	J-9
2 10	「福祉センター地鎮祭施行について」	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和33年12月22日	B5わら半紙4、蒔蒨版	J-11、同伴4部
2 11	「国会請願代表団連絡事項」		昭和33年6月15日	B5洋紙1、蒔蒨版	J-12、紙背は第3回原水爆禁止世界大会広島実行委員会実行委員委嘱状
2 12	「国会請願報告」		昭和33年12月15日カ	B5洋紙3・B4洋紙2、蒔蒨版	J-13、一部破損
2 13	「国会請願大会参加要請について」	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和33年12月8日	B4わら半紙3、謄写版、クリップどめ	J-14、同伴3部
2 14	被爆者への生活援護に関する大原代議士発言メモ			B5罫紙1、鉛筆書	J-15
2 15	「被爆者ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年2月1日	B4わら半紙2、タイプ印刷	J-16、同伴2部、破損、鉛筆書にて加筆多数あり、2-34・2-168と同内容
2 16	2月9日広島被団協理事会でのメモ	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年2月9日カ	B4わら半紙1、ペン書	J-17、紙背は昭和34年2月1日付の「被爆者ニュース」
2 17	「被爆者ニュース」内の「現在入院患者調査表」下書		昭和34年2月1日	B4罫紙1、ペン書	J-18

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 18	「温泉療養について」	広島県原爆被害者団体協議会→健康科学研究所 原爆被害者静養所	昭和34年12月10日	B4罫紙1、カーボン複写	J-19
2 19	「原爆被害者福祉会館建設委員会討議資料」	原水爆禁止広島県協議会	昭和34年3月17日	B4わら半紙中折2、謄写版、クリップどめ	J-21、同件2部、ペン書にて書込あり
2 20	「会館建設資金援助に関する陳情書」	広島県原爆被害者団体協議会→広島県知事大原博夫	昭和34年3月	B5仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	J-22
2 21	「会館建設資金援助に関する陳情書」	広島県原爆被害者団体協議会→広島県知事大原博夫	昭和34年3月	B5仮綴1・タイプ印刷・ホッチキスどめ、B4罫紙2・カーボン複写・ホッチキスどめ、クリップどめ	J-23
2 22	原爆被害者福祉センター広島平和会館備品援助申請	広島県原爆被害者団体協議会森滝市郎→中国新聞社社長	昭和34年3月20日	B4罫紙1、カーボン複写	J-24
2 23	人物名メモ		昭和34年3月24日	B5洋紙2・ペン書、納品書1・カーボン複写	J-25、年月日は納品書のもの
2 24	原爆被害者福祉センター広島平和会館開館祝賀会の案内	原水爆禁止広島県協議会広島県原爆被害者団体協議会代表者森滝市郎	昭和34年4月4日	18×35cm洋紙2、活版	J-26、同件2部、2-169と同内容
2 25	理事会開催案内		昭和34年5月15日	16×9cm洋紙2、菊蕪版、クリップどめ	J-27、同件2部
2 26	「昭和三十四年度第一回連絡協議会次第」			B4わら半紙2、謄写版	J-28、同件2部
2 27	「旅客運賃割合申請について」	広島県原爆被害者団体協議会→宇和島運輸	昭和34年2月16日	B4罫紙1、鉛筆書	J-29
2 28	「旅客運賃割引申請について」	広島県原爆被害者団体協議会→宇和島運輸	昭和34年5月18日	B4罫紙1、カーボン複写	J-30
2 29	「広島県原爆被害者団体協議会組織表」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年6月15日	B4わら半紙1、謄写版	J-31、紙背は「広島県下被爆者健康手帳交付実施表」(昭和33年3月31日現在)
2 30	「借用書」	広島県原爆被害者団体協議会→原水爆禁止広島県協議会理事長森滝市郎	昭和33年10月30日	B5罫紙2、カーボン複写、クリップどめ	J-32
2 31	「広島県原爆被害者団体協議会 第三回総会御案内」メモ		昭和34年カ	B5わら半紙1、ペン書	J-33、紙背に村戸由子さん渡欧報告会の概要メモ(ペン書)あり
2 32	「広島被害者団体のお願い」			B4わら半紙1、謄写版	J-34
2 33	「討議資料 運動方針」	広島県被団協	昭和33年カ2月1日	B5わら半紙2、謄写版	J-35、同件2部、昭和30年は誤記と推定
2 34	「被爆者ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年2月1日	B4わら半紙1、タイプ印刷・謄写版	J-16、2-15・2-168と同内容。ただし数値に修正の加筆あり
2 35	「第四回世界大会をひかえての被害者運動の問題点」		昭和34年カ	B4わら半紙16、謄写版、ホッチキスどめ	J-36、同件4部、2-163・3-23・4-2と同内容
2 36	「戦傷病者戦没者遺族等援護法等の一部を改正する法律案要綱」			B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	J-37
2 37	「理事会開催について」		昭和34年2月9日	葉書1、菊蕪版	J-38、紙背は福祉センター建設委員会開催通知
2 38	「原水爆、被団協、役員の座談会開催について」		昭和34年2月カ	葉書1、15×9cm洋紙1、菊蕪版	J-39、同件2部
2 39	平和記念式典の改善を求める陳情書	広島県原爆被害者団体協議会代表者吉川清→広島市長浜井信三	昭和34年5月23日	B4罫紙2、カーボン複写	J-40
2 40	平和記念式典の改善を求める陳情書(案)	広島県原爆被害者団体協議会→広島市長浜井信三	昭和34年5月	B5便箋2、カーボン複写	J-40
2 41	「理事会開催について」		昭和34年6月6日カ	14×8cm洋紙1、鉛筆書	J-41
2 42	「第四回定期総会御案内」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年5月27日	B4わら半紙3、謄写版	J-42、同件3部
2 43	会議発言要旨メモ			B4わら半紙2、鉛筆書	J-43、紙背は広島県被団協の第4回定期総会案内
2 44	第7回平和美術展展示品作成のため遺影提供依頼	広島県原爆被害者団体協議会・原水爆禁止広島県協議会	昭和34年カ5月31日	B4わら半紙3、タイプ印刷	J-44、同件3部
2 45	「第三回総会決算報告」		昭和33年カ	B4わら半紙1、謄写版	J-6、2-6と同内容。ただし一部修正の加筆あり
2 46	「34年度予算案」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年	B5わら半紙2、謄写版	J-45、同件2部、うち1部にペン書にて加筆あり
2 47	昭和33年度収入・支出表	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年	B4罫紙1、ペン書	J-46
2 48	「第一回常任委員会並に広島平和会館結成総会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年6月12日	B5わら半紙2、謄写版、クリップどめ	J-47、同件2部

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 49	「第四回定期総会決定事項」		(昭和34年6月6日)	B4わら半紙2、謄写版	J-48、同伴2部、2-173と同内容
2 50	「平和友好祭の募金に対するお願い」	広島県原爆被害者団体協議会 青年部長	昭和34年6月12日	B5わら半紙2、謄写版	J-49、同伴2部
2 51	「平和友好祭への募金要請について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年6月12日	B5わら半紙2、謄写版	J-50、同伴2部
2 52	昭和34年度第1回常任委員会決定事項概要	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年6月	B5わら半紙5、謄写版	J-51、クリップどめ、2-181と同内容
2 53	バス料金割引に関する陳情書・嘆願書	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎・井上昇→ 広島県知事大原博夫、広島県 バス協会長伊藤信之、広島陸 運局長鈴木大三、	昭和34年6月・昭和 34年7月1、3日	B4罫紙2・カーボン複 写、25×26cmわら半紙 1・謄写版、クリップどめ	J-52
2 54	平和記念式典改善および助成金交付に関する陳情書	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎・井上昇→ 広島県知事大原博夫	昭和34年7月3日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-53
2 55	「第二回常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年7月6日	B5わら半紙3、謄写版、 クリップどめ	J-54、同伴3部
2 56	「ブロック会議開催について」	日本被団協代表委員藤居平一	昭和33年2月15日	B4わら半紙2、謄写版、 クリップどめ	J-55、同伴2部、書込・破損 あり、紙背は原爆医療法施 行状況一覧8昭和32年12 月末現在)
2 57	エノラゲイ副操縦士のロバート・ルイス 宛書簡草稿	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員藤居平一	昭和33年5月カ	B5便箋3、ペン書、クリッ プどめ	J-56
2 58	日本政府への働きかけ(核実験即時 無条件停止条約締結、核兵器持ち込 み禁止協定締結、原爆医療法の拡充 等)および県への予算措置(県被団協 への県補助金拡充、被ばく者対策事 業の充実等)に関する請願	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県議会議長林興一郎	昭和32年12月27日	B5仮綴2、タイプ印刷、 ホッチキスどめ	J-2、同伴2部、2-2と同内 容
2 59	原水爆禁止、被爆者援護等に関する 決議請願書ひな形		昭和33年	B5わら半紙3、謄写版、 クリップどめ	J-57
2 60	「緊急常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会 事務局長藤居平一→各常任委 員	昭和33年1月28日	B4わら半紙3、謄写版	J-58、同伴3部、一部破損
2 61	原爆医療法制定1周年記念行事案内	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年3月29日	B4わら半紙1、謄写版	J-59、一部破損、紙背は 「第二回原水爆禁止世界 大会沖繩懇談会のお知らせ」
2 62	「被爆者医療法制定一周年記念集会 後援御願ひについて」	広島県原爆被害者団体協議会		26×22cmわら半紙1、 ペン書	J-60
2 63	原爆医療法改善に関する要望書	広島県原爆被害者団体協議会 代表事務局長藤居平一→厚生 大臣堀木謙三	昭和32年10月11日	B4洋紙1、タイプ印刷	J-61、一部破損
2 64	「原爆被害者の要請事項」		昭和32年11月20日	B4洋紙2、タイプ印刷、 糊どめ	J-62
2 65	「原子爆弾被爆者の医療等に関する 法律の一部を改正する法律案」		昭和33年10月15日	B5わら半紙1、タイプ印 刷	J-63
2 66	「広島県被団協報告」		昭和33年3月6日	B4わら半紙4、謄写版、 ホッチキスどめ	J-64、同伴2部、破損あり、 3-12と同内容
2 67	「被団協連絡 No.3」	日本原水爆被害者団体協議会	昭和33年2月15日	B4わら半紙2、タイプ印 刷、ホッチキスどめ	J-65、破損あり
2 68	「討議資料」		昭和33年カ	B4わら半紙2、謄写版、 糊どめ	J-66
2 69	「日本原水協の常任理事会(三月十 日)の承認した原水爆被害者対策に 対する運動方針」	日本原水協被対部 中村いづ 提案	昭和33年カ	B5わら半紙1、謄写版	J-67、3-13と同内容
2 70	日本原水爆被害者団体協議会四国 ブロック、九州ブロック、中国ブロック決 議文		昭和33年3月	B4わら半紙1、謄写版	J-68
2 71	「お年玉つき郵便葉書等の発売に関 する法律の一部を改正する法律案要 綱」			B5わら半紙1、謄写版	J-69
2 72	トルーマン米前大統領に対する抗議 要請について	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年2月	B4わら半紙3、謄写版	J-70、同伴3部
2 73	トルーマン米前大統領に対する広島 原水協の抗議文および抗議要請につ いて	原水爆禁止広島協議会 理事 長森滝市郎→各地域原水協・ 団体	昭和33年2月	B4わら半紙1、謄写版	J-71
2 74	「被爆者健康手帳・健康診断受診状 況表」		昭和32年9月30日現 在	B5わら半紙1、謄写版	J-72
2 75	「被団協連絡 No.2」	日本原水爆被害者団体協議会	昭和32年12月17日	B4わら半紙2、謄写版、 糊どめ	J-73

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 76	「全県協議会をひらくにあたっての御案内」	原水爆禁止広島協議会 事務局 局長森滝市郎	昭和32年5月23日	B4わら半紙1、謄写版	J-74、紙背に昭和33年度予算案(J-75)あり、破れあり
2 77	「医療法施行に関する当面の問題点」		昭和32年7月	B4わら半紙2、謄写版	J-76、紙背に会計報告(J-77)あり、同伴2部、うち1部の破損部分にテープによる補修あり
2 78	「メッセージ」		昭和33年カ	B4わら半紙1、ペン書	J-78
2 79	「広島県原爆被害者団体協議会 常任委員会討議資料」		昭和33年2月1日	B4わら半紙2・B5わら半紙3、謄写版、ホッチキスどめ	J-79、3-15と同内容。破損あり
2 80	被爆者の温泉療養について	広島県原爆被害者団体協議会 事務局 局長藤居平一→原爆被害者大分県協議会会長山田都美子	昭和32年11月28日	B4罫紙1、カーボン複写	J-80
2 81	被爆者治療の希望に対する返信	在日ソビエト大使館三等書記官デ・サヴォースチン→藤居平一	昭和32年11月13日	B4罫紙1、カーボン複写	J-81
2 82	指定医療機関の被爆者への対応改善を求める要望書	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎・井上昇→広島県知事大原博夫	昭和34年7月3日	B4罫紙1、カーボン複写	J-82
2 83	「被団協は何を訴えるべきか」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年	B5冊子1、謄写版	J-83、2-177と同内容
2 84	「中国ブロック会議協議内容」		昭和34年7月2日	B4罫紙6、カーボン複写、クリップどめ	J-84、同伴2部
2 85	日本原水爆被害者団体協議会総会の案内	広島県原爆被害者団体協議会	7月3日	B5便箋1、ペン書	J-85
2 86	「代表委員推戴に関する御依頼の件」	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎・井上昇→広島県理事大原博夫・広島市長浜井信三	昭和34年7月3日	B4罫紙1、カーボン複写	J-86
2 87	「第五回原水爆禁止世界大会 開会式席上での被爆者(広島の一少女)の訴え」	岡村広子	昭和34年8月5日	B4洋紙1、活版	J-87
2 88	「請願書」		昭和35年カ	B5原稿用紙9、ペン書、ホッチキスどめ	J-88、2-183の元原稿
2 89	原爆被害者救護対策についての意見書			B4罫紙4、カーボン複写、ホッチキス・クリップどめ	J-89、同伴2部
2 90	「原爆被害者に対する医療範囲の拡大及び援護措置に関する特別立法方について(中四国県議会議長会議議題)」			B4わら半紙2、謄写版	J-90、同伴2部、2-180と同内容
2 91	「原爆被害者の皆様!!! 温泉静養所が御待ちしています」	原爆予防治療研究所・広島原爆被害者静養所	昭和34年カ	17.5×24cm洋紙2、活版、クリップどめ	J-91、同伴2部
2 92	寄付金礼状	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年8月8日	B4罫紙1、カーボン複写	J-92
2 93	「原爆被害者援護法に対する打合せ会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年8月13日	B5わら半紙2、謄写版、クリップどめ	J-93、同伴2部
2 94	三重県への証言者派遣に関するメモ		8月20日頃	B5便箋1、鉛筆書	J-94
2 95	岐阜県および美濃市の原水爆禁止協議会関係者名簿			B5罫紙1、ペン書	J-95、罫紙はB4のものを半分切り取って使用したもの
2 96	「広島被団協ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年8月25日	B4わら半紙2、謄写版	J-96、同伴2部、2-178と同内容、紙背は原水爆禁止広島青年平和祭宣言(昭和34年、8月4日)
2 97	援護法制定等の陳情実施に関する日程調整依頼	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員浜井信三・森滝市郎・井上昇→広島県知事大原博夫・広島市会議長木野藤雄・広島市長浜井信三	昭和34年8月29日	B4罫紙1、カーボン複写	J-98
2 98	「原爆被害者援護に関する請願」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年9月4日	B5冊子1、タイプ印刷・謄写版	J-99
2 99	「原爆被害者援護に関するお願い」	広島県原爆被害者団体協議会→広島市長浜井信三	昭和34年9月12日	B4罫紙1、カーボン複写	J-100
2 100	「第五回原水爆禁止世界大会並びに日本被団協総会に対する総括」	東京原水爆被害者団体協議会	昭和34年9月14日	B4わら半紙1、謄写版	J-101
2 101	請願書草稿			B5洋紙3・ペン書、B5原稿用紙3・ペン書・ホッチキスどめ、クリップどめ	J-102、2-98の元原稿
2 102	「理事会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年9月19日	B6洋紙2、蒔菔版、クリップどめ	J-103、同伴2部

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 103	「代表者会議開催について」	広島県原爆被害者団体協議会 →各会長	昭和34年10月12日	B5わら半紙2・謄写版、 B5原稿用紙2・ペン書・ ホッチキスどめ、クリップ どめ	J-104、同伴2部、草稿あり
2 104	「被団協連絡」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年	B5わら半紙2・謄写版、 B5原稿用紙3・ペン書・ ホッチキスどめ、クリップ どめ	J-105、同伴2部、草稿あり
2 105	「国会請願代表団名簿」			B4わら半紙1、謄写版	J-106、ペン書にて加筆あり
2 106	「国会並に政府に対するハガキ陳情の要請」	広島県原爆被害者団体協議会 →各会長	昭和34年10月12日	B4わら半紙1、謄写版	J-107、紙背は第5回原水爆禁止世界大会への出席要請(昭和34年7月30日)
2 107	「原爆被害者援護法制定に関する国会請願への協力要請について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年10月15日	B4わら半紙3、謄写版	J-108、同伴3部、一部破損
2 108	「同封書類の利用について」	広島県原爆被害者団体協議会 →各会長	昭和34年10月16日	B5わら半紙2・謄写版、 B4わら半紙1・謄写版、 B4洋紙中折2・タイプ 印刷、クリップどめ	J-109、同封書類とあるのは「原爆被害者救援に関する請願」と「原爆被害者援護法制定に関する国会請願への協力要請について」(J-108と同じ資料だが、番号はJ-109となっている)
2 109	「国会請願団代表者への連絡」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年10月26日	B4わら半紙2、謄写版	J-110、同伴2部
2 110	「原爆病院入院患者へのタオル支給に対する申請書」	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎→日本 原水爆被害者団体協議会事務 局長森滝市郎	昭和34年12月17日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-111
2 111	原爆被害者援護法制定促進等に関する陳情書案	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県知事大原博夫	昭和34年	B4罫紙1、カーボン複 写	J-112
2 112	「原爆被害者治療承認患者名簿」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年11月末現在	B5変綴1・カーボン複 写・ホッチキスどめ、B5 便箋3・ペン書、クリップ どめ	J-113、閲覧制限あり
2 113	「被団協連絡」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年12月	B5わら半紙4、タイプ 印刷	J-114
2 114	「原爆被害者の治療援助、特に緊急を要する問題の処置について」	原水爆禁止日本協議会・被爆 者救援委員会		B4わら半紙7、タイプ 印刷	J-115、同伴7部
2 115	「原爆被害者関係予算対照表」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年1月10日	B4わら半紙1・謄写版、 B4罫紙1・ペン書、クリッ プどめ	J-116
2 116	「被団協連絡 No.20」	日本原水爆被害者団体協議会	昭和34年12月30日	B4洋紙中折1、タイプ 印刷	J-117
2 117	別府温泉調査団の派遣について	広島県原爆被害者団体協議会 →?	昭和35年1月17日	B4罫紙4、カーボン複 写	J-118、同伴4部
2 118	「至急 被団協連絡」	広島県原爆被害者団体協議会		B4わら半紙6・B5わら半 紙1、謄写版	J-119、同伴5部、紙背に「被団協連絡」(J-120)あり、ただしうち1部の紙背には「会員名簿整理について」(J-121)もあり。なおB5のものは破損によって後欠。
2 119	計算メモ			21×12.5cm厚紙1、鉛 筆書	
2 120	「感謝状」	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎→大分県原 子爆弾被害者対策協議会会長 小林政治	昭和35年2月1日	A4原稿用紙1、ペン書	J-122
2 121	研究所落成に対する贈呈品目録	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎→原爆被害 者別府温泉利用研究所	昭和35年2月1日	B5変便箋1、ペン書	J-123
2 122	「船賃割引申請書」	広島県原爆被害者団体協議会 →瀬戸内海汽船株式会社	昭和35年2月1日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-124
2 123	「第一回原爆被害者別府温泉利用研究所利用者名簿」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年1月31日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-125
2 124	「原爆被害者療養者名簿」	広島県原爆被害者団体協議会		B4罫紙1、カーボン複 写	J-126、ホッチキスどめにて 2-125と同綴
2 125	「原爆被害者別府温泉療養者名簿の送付について」	安佐郡原爆被害者の会連絡協 議会会長荒川龍雄→広島県原 爆被害者団体協議会会長	昭和35年2月10日	B4罫紙1、B5罫紙1、 カーボン複写	J-127
2 126	名簿			B5罫紙1・B7洋紙1、鉛 筆書、ホッチキスどめ	J-128

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考	
2	127	「第三回常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会 →各会長	昭和35年2月16日	B5わら半紙4・謄写版、 クリップどめ	J-129、同件4部
2	128	「治療援助費の送付について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年2月16日	B5わら半紙3・謄写版、 クリップどめ	J-130、同件3部
2	129	平和会館・県被団協理事会開催案内	広島県原爆被害者団体協議会 →日詰忍	昭和35年2月27日	葉書1、謄写版	J-131
2	130	「県被団協連絡」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年3月20日	B5わら半紙3・謄写版、 B5便箋2・鉛筆書、ホッ チキスどめ	J-132、同件3部、便箋は草 稿、2-185と同内容
2	131	「至急 被団協連絡」(県予算の補助 金不計上について)	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年3月21日	26×21cmわら半紙1、 謄写版	J-133
2	132	県予算への補助金不計上に対する声 明	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年3月25日	B5わら半紙4・謄写版、 クリップどめ	J-134、同件4部、2-186と 同内容
2	133	「理事会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年4月9日	10×15cm洋紙3・謄写 版、B5便箋1・ペン書、 クリップどめ	J-135、同件3部、便箋は草 稿
2	134	各会長宛書簡の草稿	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年4月9日	B5便箋1、鉛筆書	J-136
2	135	「理事会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月1日	17×24cmわら半紙1・ 謄写版、A4原稿用紙 1・ペン書、クリップどめ	J-137、原稿用紙は草稿
2	136	宮崎県原爆被害者の会結成祝電下 書き	(広島県原爆被害者団体協議 会)→宮崎県原爆被害者の会		21×15cm洋紙1、鉛筆 書	J-138
2	137	「常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月7日	B4わら半紙5・謄写版	J-139、同件5部
2	138	「案内状及ポスター配布依頼につい て」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月13日	B5わら半紙3・謄写版	J-140、同件3部
2	139	「ソ連文化使節との懇談会の時間訂 正についての緊急連絡」	広島県原爆被害者団体協議会 →入沢美智子・島康子	昭和35年5月12日	葉書2、謄写版	J-141
2	140	結婚式祝電下書き			B4わら半紙中折1、鉛 筆・ペン書	
2	141	「原爆被害者大会後援名義使用依頼 について」	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県	昭和35年5月9日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-142
2	142	「原爆被害者大会後援依頼について」	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県予防課長・広島市原 対課長	昭和35年5月9日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-143、2-143とともにホッ チキスどめ
2	143	「原爆被害者大会開催趣意書」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月9日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-144
2	144	原爆被害者大会ポスター	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月22日	B3洋紙1、オフセット印 刷	J-145
2	145	「大会日程」		昭和35年5月22日カ	B5わら半紙4・謄写版、 B5原稿用紙1・ペン書、 クリップどめ	J-146、同件4部、原稿用紙 は草稿
2	146	「理事会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月17日	14×9cmわら半紙3・謄 写版、クリップどめ	J-147、同件3部
2	147	原爆被害者大会式次第・記念品引換 券	広島県原爆被害者団体協議会		18×26cmわら半紙1、 タイプ印刷	J-148、裏面にJ-149
2	148	広島県原爆被害者大会案内状	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月16日	19×34cm洋紙2、活版	J-150、同件2部
2	149	「広島県原爆被害者大会の御案内」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月10日	19×34cm洋紙4、活版	J-151、同件4部
2	150	「集会許可申請書」	広島県原爆被害者団体協議会 代表委員森滝市郎→広島県公 安委員会	昭和35年5月21日	B4罫紙2・カーボン複 写、B5わら半紙1・謄写 版、ホッチキスどめ	J-152
2	151	集会実施許可書	広島県公安委員会→広島県原 爆被害者団体協議会代表委員 森滝市郎	昭和35年5月21日	B4わら半紙1、タイプ印 刷	J-153
2	152	「健康診断促進並に医療法一部改正 の説明依頼について」	広島県原爆被害者団体協議会 →広島県予防課長	昭和35年5月20日	B4罫紙1、カーボン複 写	J-154
2	153	礼状	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月29日	19×34cm洋紙1、タイ プ印刷	J-155
2	154	礼状	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月29日	19×34cmわら半紙5、 タイプ印刷	J-156、同件5部、一部破損
2	155	礼状	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月29日	B4罫紙2、カーボン複 写、クリップどめ	J-157、同件2部
2	156	「決議(案)」	広島県原爆被害者大会	昭和35年5月22日	19×34cmわら半紙1、 B5わら半紙1・謄写版	J-158、うち1部は草稿
2	157	「理事会開催御案内」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年5月31日	14×9cmわら半紙6・謄 写版	J-159、同件6部
2	158	アイゼンハワー大統領来日に関する 要請書案	広島県原爆被害者団体協議会 →アイゼンハワー大統領	昭和35年5月22日	B4罫紙1、ペン書	J-160

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 159	アイゼンハワー大統領来日に関する要望書	広島県原爆被害者団体協議会→アイゼンハワー大統領	昭和35年6月4日	B4罫紙1・カーボン複写、B4わら半紙1・謄写版、A4原稿用紙3・ペン書・ホッチキスどめ	J-161、草稿あり
2 160	「別府温泉療養者募集について」	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和35年6月5日	B4わら半紙3、謄写版	J-162、同件3部、療養期間中に三笠宮が慰問の予定
2 161	「中国ブロック会議開催について」	広島県原爆被害者団体協議会→日本被団協役員・理事	昭和35年6月14日	B4罫紙1、カーボン複写	J-163
2 162	「第四回定期総会御案内」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年5月27日	B4わら半紙2、謄写版	J-42、同件2部
2 163	「第四回世界大会をひかえての被害者運動の問題点」		昭和34年カ	B4わら半紙4、謄写版	J-36、2-35・3-23・4-2と同内容
2 164	「予算案」		昭和33年カ	B4わら半紙3、謄写版	J-75、同件3部、紙背は原水爆禁止広島協議会の全県協議会開催案内(昭和32年5月24日付)
2 165	「原爆の基地を許すまい」「しあわせの歌」楽譜			B5わら半紙2、謄写版	J-164、同件2部
2 166	「感謝のことば」	広島県原爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和33年4月5日	B4わら半紙3、謄写版	J-165、同件3部
2 167	「国会請願に対する協力要請について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年12月12日	B4わら半紙2、謄写版	J-8、同件2部
2 168	「被爆者ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年2月1日	B4わら半紙5、謄写版	J-16、同件5部、2-15・2-34と同内容
2 169	原爆被害者福祉センター-広島平和会館開館祝賀会の案内	原水爆禁止広島県協議会広島県原爆被害者団体協議会代表者森滝市郎	昭和34年4月4日	19×34cm洋紙3、活版	J-26、同件3部、2-24と同内容
2 170	「資料 第三回総会」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年5月	B5冊子1、謄写版	J-3、「竹内」印鑑あり、2-3・3-10と同内容
2 171	貸し切りバス料金割引、平和記念式典への遺族参列問題について経過報告	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和34年7月29日	B4わら半紙2、謄写版	J-166、同件2部
2 172	「治療援助費の送付について」	原水爆禁止日本協議会理事長安井郁		B5わら半紙1、タイプ印刷	J-167
2 173	「第四回定期総会決定事項」		(昭和34年6月6日)	B4わら半紙1、謄写版	J-40、後欠、2-49と同内容
2 174	常任理事会出席名簿		7月21日	B4わら半紙2、ペン書	J-168
2 175	「原水爆禁止広島県協議会1960年度予算(案)」		昭和35年	B4わら半紙1、タイプ印刷	J-169
2 176	バス料金割引に関する嘆願書	広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎・井上昇→広島県知事大原博夫、広島県バス協会会長伊藤信之、広島陸運局長鈴木大三	昭和34年6月	B4わら半紙1、謄写版	J-52、2-182と同内容
2 177	「被団協は何を訴えるべきか」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年	B5冊子1、謄写版	J-83、2-83と同内容
2 178	「広島被団協ニュース」		昭和34年カ8月25日	B4わら半紙2、謄写版	J-97、同件2部、2-96と同内容
2 179	「原爆被害者対策議員懇談会について」			B4わら半紙1、タイプ印刷	J-171
2 180	「原爆被害者に対する医療範囲の拡大及び援護措置に関する特別立法方法について(中四国県議会議長会議題)」			B4わら半紙2、謄写版	J-90、同件2部、破損あり、2-90と同内容
2 181	昭和34年度第1回常任委員会決定事項概要	広島県原爆被害者団体協議会	昭和34年6月	B5わら半紙4、謄写版、クリップどめ	J-51、同件3部、2-52と同内容
2 182	バス料金割引に関する嘆願書	広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎・井上昇→広島県知事大原博夫、広島県バス協会会長伊藤信之、広島陸運局長鈴木大三	昭和34年6月	B4わら半紙1、謄写版	J-52、2-176と同内容
2 183	「請願書」			B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	J-172、2-88は元原稿
2 184	広島・長崎原爆被害者対策協議会設立趣意書等写し	広島・長崎原爆被害者対策協議会会長平塩五男	昭和35年2月6日	B4罫紙中折7、ペン書、ホッチキスどめ	J-173
2 185	「県被団協連絡」	広島県原爆被害者団体協議会	3月20日	B5わら半紙2、謄写版、クリップどめ	J-132、同件2部、2-130と同内容
2 186	県予算への補助金不計上に対する声明	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年3月25日	B5わら半紙4、謄写版	J-134、同件4部、2-132と同内容
2 187	アイゼンハワー大統領来日に関する要望書(英文)	The Board of the Atomic Bomb Victims' Society		A4洋紙1、タイプ印刷	J-174
2 188	アイゼンハワー大統領来日に関する要望書	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年6月4日	B4タイプ用紙1、和文タイプ	J-161、2-159と同内容

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
2 189	原子爆弾被爆者の交通手当支給要綱			B4洋紙1、タイプ印刷	J-175
2 190	原爆犠牲者への弔辞	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年7月24日	B5原稿用紙3、ペン書、ホッチキスどめ	J-176
2 191	「常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会→各常任委員	昭和35年7月14日	B4わら半紙2、謄写版	J-177、同件2部、2-196と同内容
2 192	労働組合単位での原爆被害者の会結成の呼びかけおよび調査票	広島県労働組合会議・広島県原爆被害者団体協議会・原水爆禁止広島県協議会	昭和35年5月	13×20cmわら半紙1、B5洋紙1、活版、クリップどめ	J-178
2 193	理事会開催通知および原爆医療法一部改正の連絡		昭和35年7月カ	15×9cmハトロン紙6、謄写版、クリップどめ	J-179、180、同件3部
2 194	「被団協ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年7月15日	B4わら半紙1、謄写版	J-181
2 195	理事会議事録		昭和35年7月21日	B5原稿用紙3、ペン書、クリップどめ	J-182
2 196	「常任委員会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会→各常任委員	昭和35年7月14日	B4わら半紙1、謄写版	J-177、2-191と同内容
2 197	「青年部総会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会青年部長網岡弘→各会員	昭和35年7月23日	B4わら半紙7、謄写版、クリップどめ	J-184、同件7部
2 198	第6回原水爆禁止世界大会への支援要請	安芸郡原爆被害者団体連合会長松垣益人→各町村長	昭和35年7月29日	B4わら半紙1、謄写版	J-185、紙背にペン書にて上京スケジュールあり
2 199	第6回原水爆禁止世界大会への伊藤サカエ町議派遣依頼	広島県原爆被害者団体協議会→矢野町長国清武・議会議長野代兼三	昭和35年7月28日	B4罫紙1、カーボン複写	J-186
2 200	第7回原水爆禁止世界大会への池田精子派遣依頼	広島県原爆被害者団体協議会→瀬野川町長	昭和35年7月30日	B4罫紙1、カーボン複写	J-187
2 201	「広島県被団協活動報告(案)」		昭和35年	B4罫紙2、カーボン複写、ピンどめ	J-188
2 202	中国青年に対する被害者救援金の感謝状	広島県原爆被害者青年部	昭和35年9月1日	B4罫紙2、カーボン複写	J-189、同件2部
2 203	「理事会開催について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年8月25日	B5わら半紙5、謄写版、クリップどめ	J-190、同件5部
2 204	「広島原爆被害者を代表して訴えます」		8月18日受付	B4わら半紙1、ペン書	J-191
2 205	「被団協ニュース」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年8月25日	B4わら半紙1、タイプ印刷	J-192
2 206	特別原爆被爆者の認定に関する要望	広島県原爆被害者団体協議会森滝市郎	昭和35年9月7日	B4罫紙1、カーボン複写	J-193
2 207	「総理大臣を囲む懇談会参加依頼について」	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和35年9月8日	B4わら半紙1、謄写版	J-194
2 208	中国ブロック会議議事要録			B5原稿用紙1、鉛筆書	J-195
2 209	被爆者健康手帳更新申請の案内	広島県庁予防課・広島県原爆被害者団体協議会→原爆被害者	昭和35年9月	B5洋紙4、活版	J-196、同件4部
2 210	国勢調査・医療法改正等に関する連絡	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和35年9月10日	B4わら半紙3、謄写版・タイプ印刷	J-197、同件2部、紙背は「世界大会募金、県民大会の緊急連絡について」(原水爆禁止広島県協議会、昭和35年7月29日)、および「広島県・長崎県原子爆弾被爆者実態調査票」(広島県、昭和35年10月1日)
2 211	第二回広島青年平和祭、マツタケ狩り案内	広島県原爆被害者団体協議会青年部長網岡弘→各会員	昭和35年10月4日	B5わら半紙2、謄写版	J-198、同件2部
2 212	「原爆被害者医療等に関する法律改正実施について」		昭和35年	B5冊子1、タイプ印刷	J-199、裏表紙に鉛筆書にて国会請願・理事会等の日程メモあり
2 213	「補助金の交付方について」	広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎→広島原爆被害者援護対策協議会会長平塩五男	昭和35年10月	A4原稿用紙5・ペン書・クリップどめ、B5冊子2・タイプ印刷	J-200、原稿用紙は草稿、冊子2部のうち1部に県被団協規約等の添付あり
2 214	「医療法普及に対する補助金申請について」	広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎→広島原爆被害者援護対策協議会会長平塩五男	昭和35年10月	B4罫紙4、カーボン複写、紙縫綴	J-201
2 215	「理事会開催について」「パンフレット利用について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年10月14日	A5わら半紙6、謄写版、クリップどめ	J-202、同件3部ずつあり
2 216	理事会議事要録	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年10月17日	A4原稿用紙2、鉛筆書	J-203
2 217	緊急理事会開催通知(県費補助金減額等)	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年10月29日	B5わら半紙5、謄写版	J-204、同件5部

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考	
2	218	被団協ニュース断簡	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年8月25日	B5変洋紙1、タイプ印刷	切取りあり
2	219	「医療法普及に対する補助金申請について」	広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎→広島県知事大原博夫	昭和35年8月29日	B4罫紙2、カーボン複写、ホッチキスどめ	J-205
2	220	「青年部ニュース」(医療法一部改正など)	広島県原爆被害者団体協議会青年部長綱岡弘		B5わら半紙3、謄写版、クリップどめ	J-206、同伴3部
2	221	請願項目メモ(一般被爆者と特別被爆者の区別撤廃、医療支援拡充等)			A4原稿用紙4、ペン書・鉛筆書、クリップどめ	J-207
2	222	理事会議事要録	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年11月2日	B5原稿用紙1、ペン書	J-208
2	223	「中国ブロック会議開催について」	日本被団協理事長森滝市郎	昭和35年10月3日	B4罫紙1・鉛筆書、B5原稿用紙1・ペン書、クリップどめ	J-209
2	224	県費補助金交付に関する陳情	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年11月11日	B4罫紙2・カーボン複写、B4変わら半紙1・ペン書	J-210、陳情書の控と草稿
2	225	救援金処理委員会委員および被団協代表による協議結果メモ			B5洋紙2、鉛筆書、クリップどめ	J-211
2	226	「施設費配分申請書」	原爆被害者福祉センター・広島平和会館理事長森滝市郎→日本原水協救援委員会	昭和35年11月16日	B4罫紙1、カーボン複写	J-212
2	227	活動連絡(県費補助金受領、原水爆禁止被爆者激励広島大会への参加要請)	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和35年11月25日	B5わら半紙2、タイプ印刷	J-213、同伴2部
2	228	原水爆禁止被爆者激励広島大会開催案内	原水爆禁止広島県協議会理事長森滝市郎	昭和35年10月26日	B4洋紙1、タイプ印刷	J-214
2	229	救援金(治療・生活援助費)配分案内および申請書	原水爆禁止広島県協議会・広島県原爆被害者団体協議会代表委員森滝市郎→各地域原水協・各地域被団協・各諸団体	昭和35年12月10日	B4わら半紙8、タイプ印刷・謄写版	J-215、案内・申請書ともに同伴4部
2	230	「別表 原爆被害者治療・生活援助費の救援についての地域別配分表」	広島県原水協		B4わら半紙1、タイプ印刷・ペン書	J-216
2	231	「医療法普及に対する経費の一部補助について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和35年12月27日	B5罫紙2、カーボン複写、クリップどめ	J-217
2	232	長崎総会議事要録		昭和36年カ	B5原稿用紙2、鉛筆書、クリップどめ	J-218
2	233	「被団協連絡」(国会請願、体験記募集等)	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年1月29日	B4わら半紙5、タイプ印刷	J-219、同伴5部
2	234	広島県被団協理事会議事要録		昭和36年1月29日	B5変便箋3、鉛筆書、クリップどめ	J-220
2	235	「国会請願大会に対する代表派遣要請について」	広島県原爆被害者団体協議会代表森滝市郎→広島市原爆被害者団体連合会会長浜井信三	昭和36年2月1日	B4罫紙1、カーボン複写	J-221
2	236	原爆被害者福祉センターの運営改善に関する陳情書	広島県原爆被害者団体協議会代表森滝市郎→広島市長浜井信三	昭和36年2月1日	B4罫紙1、カーボン複写	J-222
2	237	「被団協連絡」送付状	広島県原爆被害者団体協議会→各会長	昭和36年2月1日	B4わら半紙1、謄写版	J-223
2	238	「国会請願に対する協力援助方申請の件」	広島県原爆被害者団体協議会→各市町村長	昭和36年2月1日	B5わら半紙2、タイプ印刷、クリップどめ	J-224、同伴2部
2	239	「国会請願への協力方要請について」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年2月1日	B5洋紙1、タイプ印刷	J-225
2	240	「被団協連絡」(被爆者健康診断等について)	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年2月10日	B4わら半紙4、タイプ印刷	J-226、同伴4部
2	241	「国会請願代表者名簿」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年2月17日	B5わら半紙1、タイプ印刷	J-227
2	242	「原爆被害の実相を訴えるために東南アジア諸国を訪問する吉川清氏への激励支援の要請について」	浜井信三、村上安恵、浜本万三、森滝市郎	昭和36年3月6日	B4わら半紙2、タイプ印刷、クリップどめ	J-228、同伴2部
2	243	吉川清東南アジア訪問壮行会案内	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年3月6日	B4わら半紙1、謄写版	J-229、紙背は被団協連絡(2-240と同一)
2	244	「国会請願代表者名簿」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年2月17日	B5変便箋3・鉛筆書・ペンどめ、B5わら半紙1・タイプ印刷	J-230、2-241と同内容
2	245	理事会開催案内	広島県原爆被害者団体協議会→各理事	昭和36年2月25日	B4わら半紙1、謄写版	J-231
2	246	「被団協連絡」4号(3月6日)、3号(3月1日)原稿	広島県原爆被害者団体協議会	昭和36年カ	B5原稿用紙11・ペン書・クリップどめ、B5原稿用紙4・ペン書・ホッチキスどめ	J-232
2	247	被爆体験調査票			B4わら半紙1、タイプ印刷	J-233

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考	
—	広島県被団協竹内武氏蔵 被爆者運動関係資料綴			表紙欠、3-1~3-95まで紐綴にて一括	原医研が整理した時点で簿冊の表紙なし。タイトルは原医研が独自に付与した。受贈時に約半数の資料は綴紐が切れ一紙ものの状態だった。	
3	1	来広したネルー首相に対して感謝の言葉	昭和32年	B4罫紙1、ペン書	No.2、後欠	
3	2	アジア・アフリカ諸国国民代表に対してメッセージ		B4罫紙1、ペン書	No.3、後欠	
3	3	原爆医療法制定1周年記念集会あいさつ原稿	藤居平一カ	昭和33年カ	A4原稿用紙4、ペン書	No.4
3	4	「援護法立法化まで」	藤居平一		B5罫紙4、ペン書	No.12、後欠カ
3	5	国民使節の派遣について		B5変罫紙1、ペン書	No.13	
3	6	第三回原水爆禁止世界大会被爆者協議会における申合せ事項		昭和32年8月カ	13×18cm原稿用紙15、ペン書	No.21
3	7	8・6大会プログラムにつき意見書	中野清一→藤居平一	7月22日	B5原稿用紙3、ペン書	No.36
3	8	「陳情書」	愛媛県原爆被害者の会会長高木靖登他4名	昭和31年1月26日	B4洋紙2、謄写版、ホッチキスどめ	No.37
3	9	被爆者医療申請書類一式			B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	No.38
3	10	「資料 第三回総会」	広島県原爆被害者団体協議会	昭和33年5月	B5冊子1、謄写版	No.39-1、2-3・2-170と同内容
3	11	「日本平和大会の宣言と決議」	日本平和大会	昭和33年6月14、15日	B4わら半紙中折1、B5わら半紙1、活版	No.40-1
3	12	「広島県被団協報告」		昭和33年3月6日	B4わら半紙2、謄写版、ホッチキスどめ	No.42、一部破損
3	13	「日本原水協の常任理事会(三月十日)の承認した原水爆被害者対策に対する運動方針」	日本原水協被対部 中村いく	3月10日	B5わら半紙1、謄写版	No.43
3	14	「中国ブロック会議開催についての御願ひ」	広島県原爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和33年2月25日	B4わら半紙2、謄写版	No.44-1・2、同件2部、一部破損
3	15	「広島県原爆被害者団体協議会 常任委員会討議資料」		昭和33年2月1日	B4わら半紙2、謄写版、ホッチキスどめ	No.45、2-79と同内容
3	16	「原爆被害者救済委員会、救済活動要領」			B5仮綴1、謄写版、糊どめ	No.46
3	17	「救済運動の意義」	藤居平一		A4原稿用紙13、ペン書	No.47
3	18	原爆被害者連絡協議会・準備会の報告	川手健→藤居平一	昭和30年9月18日	B5原稿用紙2、ペン書	No.48
3	19	「原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の施行状況」	日本被団協	昭和32年12月末現在	B4わら半紙1、謄写版	No.50
3	20	「村戸由子さん渡欧準備について」	広島県原爆被害者団体協議会	3月15日	B4わら半紙1、謄写版	No.51
3	21	「被団連絡No.1」	日本原水爆被害者団体協議会	昭和32年カ10月25日	B4わら半紙1、タイプ印刷	No.52
3	22	被爆者医療に関する要望書	広島県原爆被害者団体協議会代表事務局長藤居平一→厚生大臣堀木謙三	昭和32年10月11日	B4洋紙1、タイプ印刷	No.53
3	23	「第四回世界大会をひかえての被害者運動の問題点」		昭和34年カ	B4わら半紙4、謄写版、糊綴じ	No.54-1~2、2-35・2-163・4-2と同内容
3	24	「被爆被害者の会結成について」	設立準備発起人会	昭和32年2月	B5わら半紙1・B4わら半紙2、謄写版	No.55-1~3
3	25	「代表者会議討議資料」	日本原水爆被害者団体協議会事務局	昭和32年1月12日	B5変便箋5、ペン書	No.57
3	26	「日本原水爆被害者団体協議会経過報告」			B5変便箋6、ペン書・鉛筆書	No.58
3	27	活動報告および書面審議依頼	日本原水爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和31年8月30日	B4わら半紙4、謄写版、ホッチキスどめ	No.59
3	28	「原水爆禁止世界大会議事速報(第一日)」	原水爆禁止世界大会日本準備会	昭和30年8月6日	B5冊子1、謄写版	No.61
3	29	「原水爆禁止世界大会議事速報(第二日)」	原水爆禁止世界大会日本準備会	(昭和30年8月7日)	B5冊子1、謄写版	No.62
3	30	「原水爆禁止世界大会議事速報(第三日)」	原水爆禁止世界大会日本準備会	昭和30年8月8日	B5冊子1、謄写版	No.63
3	31	「資料 中国から寄せられた救援金に対する要望」	日本国民救援会		B4わら半紙1、謄写版	No.64
3	32	日本原水爆被害者団体協議会理事会への代表者派遣依頼	日本原水爆被害者団体協議会事務局長藤居平一→各県原水協	昭和31年8月12日	B4わら半紙1、謄写版	No.66

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
3 33	活動報告と相談	日本原水爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和31年8月30日	B4わら半紙2・B5わら半紙1、謄写版	
3 34	「社会党山下義信氏私案 原爆症患者救護法案要綱」	社会党山下義信	昭和31年8月16日	B4わら半紙1、謄写版	
3 35	日本原水爆被害者団体協議会役員名簿			B4わら半紙1、謄写版	
3 36	「広島県原爆被害者団体協議会規約」			B4わら半紙1、謄写版	No.67(No.66の別紙)
3 37	「決議文」	広島県原爆被害者大会	昭和31年3月18日	B4わら半紙1、謄写版	No.68(No.66の別紙)、紙背は「宣言—世界への挨拶—」
3 38	「広島県原爆被害者団体協議会規約案」			B4わら半紙1、謄写版	No.69(No.66の別紙)
3 39	「広島県原爆被害者団体協議会を組織する方法」			B4わら半紙1、謄写版	No.70(No.66の別紙)、紙背は「広島大会参加外国人名簿」
3 40	「国会請願文の写し」		昭和31年3月20日	B4わら半紙1、謄写版	No.71(No.66の別紙)、紙背に書込あり
3 41	原爆被害者救済委員会の紹介と参加呼びかけ		昭和31年	原水爆禁止広島協議会原稿用紙15、ペン書	No.72
3 42	「原爆都市青年協議会分科会記録」		昭和31年4月	B4わら半紙1、謄写版	No.73、紙背は原爆被害者実態調査票(広島県地域婦人団体連絡協議会実施のもの)
3 43	「被爆者健康手帳・健康診断受診状況表」		昭和32年9月30日	B5わら半紙1、謄写版	No.74-2、No74-1と同じ
3 44	「被爆者健康手帳・健康診断受診状況表」		昭和32年9月30日	B5わら半紙1、謄写版	No.74-1、No74-2と同じ
3 45	原爆被害者に対する医療援助等の請願書	広島県原爆被害者団体協議会	昭和31年6月1日	B4わら半紙中折1、タイプ印刷	No.75、3-57と同内容
3 46	「朝洋新聞」第166号	朝洋社	昭和31年9月15日	ブランケット判新聞1、活版	原水爆禁止全国市会議長大会に関する記事
3 47	福岡市原水協準備会の活動記録	原水爆禁止福岡市協議会準備会	昭和31年	B4わら半紙1、謄写版	No.77
3 48	「日本原水爆被害者団体協議会理事会出席者氏名」			B5変便箋1、ペン・鉛筆書	
3 49	第一回代表者理事会・第二回代表者理事会の審議予定事項の案内	日本原水爆被害者団体協議会	(昭和31年9月27日)	B4わら半紙1、謄写版	No.78
3 50	「原爆被害者救済委員会会計報告」		昭和31年10月5日	B5わら半紙1、謄写版	No.79、紙背は「大会日程と行事 原水爆禁止世界大会日本準備会」
3 51	「日本原水爆被害者団体協議会規約(案) 決議(案)」		昭和31年8月10日	B4わら半紙1、謄写版	No.80、紙背は日本原水爆被害者団体協議会結成大会宣言文
3 52	「原水爆禁止全県協議会並びに第一回常任実行委員会協議事項」		6月24日カ	B4わら半紙2、謄写版	No.81
3 53	原水爆禁止広島大会の開催と第二回原水爆禁止世界大会への参加に際して県民へのアピール	原水爆禁止広島大会実行委員会	昭和31年7月	B4わら半紙1、活版	No.82
3 54	「原水爆禁止世界大会の議題について」			B4わら半紙2、謄写版	No.83
3 55	「被爆者健康手帳」他関係書類見本			B5仮綴1、謄写版、ホッチキスどめ	No.84
3 56	原爆被害者救済活動に関する記録と展望			B5わら半紙1、謄写版	No.85
3 57	原爆被害者に対する医療援助等の請願書	広島県原爆被害者団体協議会	昭和31年6月1日	B4わら半紙中折1、タイプ印刷	No.86、3-45と同内容
3 58	「原爆被害者援護法案要綱」			B4わら半紙1、謄写版・ペン書	No.87
3 59	日本原水爆被害者団体協議会福岡支部結成大会の案内葉書	日本原水爆被害者団体協議会福岡支部	昭和31年	葉書1、謄写版	
3 60	「日本原水爆被害者団体協議会福岡支部○○会会則(案)」		昭和31年カ	B4わら半紙1、謄写版	No.89
3 61	「日本原水爆被害者団体協議会福岡支部役員名簿」			18×22cmわら半紙1、謄写版	No.90
3 62	「原水爆禁止広島協議会一般報告メモ」		昭和31年6月24日	B4わら半紙3、謄写版、ホッチキスどめ	No.91
3 63	「第一回日本原水爆被害者団体代表者会議出席者名簿」		昭和32年1月12日	B4わら半紙1、謄写版	No.92、破損

広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考
3 64	「日本原水爆被害者団体協議会代表者会議の準備」			B5便箋3、B4わら半紙1、ペン書	No.93-1・2
3 65	「原爆被災調査表(補)」			B4わら半紙1、謄写版	No.94
3 66	日本原水爆被害者団体協議会の経過報告	日本原水爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和31年カ12月2日	B4わら半紙2、謄写版	No.95、紙背は第3回原水爆禁止広島大会決議(昭和31年8月6日)
3 67	日本原水爆被害者団体協議会代表者会議開催の案内	日本原水爆被害者団体協議会事務局長藤居平一	昭和32年	B4わら半紙1、謄写版	No.96
3 68	「第3回原水爆禁止世界大会国際予備会議事要録」	原水爆禁止日本協議会	昭和32年	B5冊子1、活版	No.97
3 69	「広島教育時報」第18号		昭和33年3月25日	19×35cm洋紙1、活版	No.98
3 70	広島子供を守る会基金募集音楽会プログラム		昭和34年	25×35cmリーフレット1、写真製版	No.99
3 71	「八海事件現地調査の手びき」	八海事件現地調査実行委員会		B5冊子1、謄写版	No.100
3 72	八海事件に関する裁判所宛要請書写し	八海事件現地調査実行委員会代表土岡喜代一→最高裁判所第三小法廷	昭和32年10月21日	B5わら半紙1、謄写版	No.101
3 73	高田郡原爆被害者の会総会への幹部派遣要請	高田郡原爆被害者の会向原町支部長玉井寛郎→広島県原爆被害者連絡協議会事務局	昭和33年1月13日	B5高田郡向原町役場罫紙1、ペン書	No.102
3 74	全通信労働組合第16回中央委員会への参加要請	全通信労働組合広島県地区本部執行委員長赤城鶴雄→広島原水協	昭和33年1月10日	B4わら半紙1、謄写版	No.103
3 75	映画「第五福竜丸」パンフレット	大映株式会社		19×16cm洋紙1、写真製版	No.104
3 76	政治スライド広告	日本幻灯文化株式会社		B4わら半紙1、謄写版	No.105
3 77	定期総会開催の案内とメッセージ依頼	原水爆禁止富山県協議会	昭和34年3月12日	B5わら半紙1、謄写版	No.106
3 78	「三・一中央大会及び行動旬間実施要綱(案)」	東京原水協常任理事会	昭和34年	B4わら半紙1、タイプ印刷	No.107
3 79	新島ミサイル試射場建設反対運動への支援要請	東京基地連	昭和34年	B4わら半紙1、タイプ印刷	No.108(No.107の添付資料)
3 80	「東京原水協」No.31	東京原水協常任理事会	昭和34年1月20日	B4わら半紙1、謄写版	No.109(No.107の添付資料)
3 81	『第五福竜丸』上映普及の会・ニュースNo.1』	『第五福竜丸』上映普及の会	昭和34年	B4洋紙1、謄写版	No.110(No.107の添付資料)
3 82	「京都原水協ニュース」	京都原水協事務局	昭和34年2月15日	B4わら半紙1、謄写版	No.111
3 83	船井郡連合青年団視察団の広島派遣の通知	原水爆禁止京都協議会理事長細井友晋→広島原水協	(昭和34年2月21日)	B5便箋2・ペン書、封筒1	No.112
3 84	「日本一週一万キロ平和自転車リレー」支援方御依頼について	原水爆禁止熊本協議会会長福田令寿	昭和34年2月16日	B4わら半紙1、謄写版・ペン書	No.113
3 85	「私はこう訴える」	原水爆禁止熊本協議会会員野田忠男	昭和34年2月5日	B4洋紙1、活版	No.114(No.113の添付資料)
3 86	「自転車リレー」支援方御依頼について	原水爆禁止熊本協議会会長福田令寿→広島原水協	昭和34年2月20日	B5わら半紙1、謄写版、封筒1	No.115
3 87	三・一ビキニ・デー中央大会ポスター送付の送り状	原水爆禁止日本協議会→各地原水協	昭和34年2月7日	B4罫紙1、カーボン複写	No.116
3 88	「御依頼(全国事務局会議の件)」	日本原水協組織部→広島板倉	昭和34年	B4罫紙1、カーボン複写	No.117
3 89	「第一回メーデー常任実行委員会報告」	第三十回広島県中央統一メーデー実行委員会事務局長福岡義登→各労組委員長・各地区メーデー実行委員会・各団体長	昭和34年4月15日	B4わら半紙2、謄写版	No.118
3 90	「核武装阻止 安保改定反対 署名簿」	原水爆禁止東京協議会	昭和34年	A4洋紙中折4、活版	No.119-1～4、同件4部
3 91	「一九五九年度定期総会議案書」	原水爆禁止富山県協議会	昭和34年3月22日	B5冊子3、謄写版	No.120-1～3、同件3部
3 92	「千羽鶴バッジの取扱いについて」	日本原水爆被害者団体協議会・原水爆禁止日本協議会		B5洋紙1、タイプ印刷	No.121
3 93	「第六回九州ブロック会議報告」		昭和34年	B4わら半紙2、謄写版、ホッチキスどめ	No.122
3 94	「平和通信」No.271	東京都平和会議	昭和34年4月1日	B4わら半紙中折1、謄写版	No.123
3 95	「原水爆禁止ニュース」第63号	原水爆禁止日本協議会	昭和33年8月1日	タブロイド判新聞1、活版	No.124
— —	その他の件 被団協			表紙欠、綴紐欠	タイトルは原医研が付与したもの。以下4-1から4-10は受贈時は一紙ものの状態だった。

整理番号	件名	作成(発信→受信)	年代	形態・数量	備考	
4	1	「原爆被爆生存者数」		昭和25年10月1日現在	25×13cmわら半紙1、活版	K-5
4	2	「第四回世界大会をひかえての被害者運動の問題点」		昭和34年カ	B4わら半紙4、謄写版、ホッチキスどめ	K-7、2-35・2-163・3-23と同内容
4	3	「状況報告」	広島被団協→日本被団協	昭和33年5月29日	B5仮綴1、カーボン複写、ホッチキスどめ	K-8
4	4	「映画「千羽鶴」について」	広島市教育委員会		B5洋紙1、活版	K-9
4	5	「原子爆弾被爆者救援対策に関する請願書」		昭和33年6月16日	A4仮綴1、タイプ印刷、ホッチキスどめ	K-10
4	6	「感謝状」	広島県原爆被害者団体協議会→藤居平一	昭和32年7月7日	B4洋紙1、ペン書	K-27
4	7	自民党広島県会議員団に対する抗議ビラ	広島県労働組合会議	昭和34年7月10日	A5わら半紙1、活版	K-40
4	8	「ラジオ中国街頭録音“原水爆禁止世界大会に望む”」		昭和34年カ7月25日	B4わら半紙2、タイプ印刷、ホッチキスどめ	K-49
4	9	原水爆禁止広島青年平和祭への参加呼びかけビラ	第七回青年学生平和友好祭／原水爆禁止広島青年平和祭実行委員会	昭和34年カ8月4日	A4わら半紙1、活版	K-50
4	10	「村上操さんの負傷についてのおしらせ」		4月2日	18×12cmわら半紙1、謄写版	K-88
5		「記録(雑)」	藤居平一	昭和30年カ	A5ノート1、ペン書	挟込「組合ニュース」(昭和30年4月15日)あり、広島市長選挙応援関係
6		「原爆被害者実態調査結果表」	広島県地域婦人団体連絡協議会	昭和30年8月1日現在	A4冊子1、活版	
7		「日本原水爆被害者団体協議会」名簿			B4わら半紙1、謄写版	
8		「キリスト者 平和の友 原爆特集号」	キリスト者平和の会	昭和31年10月26日	ブランケット判新聞1部、活版	

広島大学文書館蔵  
広島県原爆被害者団体協議会関係文書目録

---

発行 令和2年10月8日

編集 広島大学文書館・75年史編纂室  
(責任編集 石田雅春)  
〒739-8524  
広島県東広島市鏡山一丁目1-1  
電話 082-424-6050 FAX 082-424-6049

印刷 株式会社ニシキプリント  
〒733-0833  
広島県広島市西区商工センター七丁目5-33

---